

○人手不足のため、平成22年に富山県障害者チャレンジトレーニング事業の一環で、高岡障害者就業・生活支援センターから、実習生として障がい者を受け入れ、農作業に従事してもらったことが農福連携のきっかけ。ビニールハウス36棟で、こまつなを中心に周年栽培を行っており、従業員20名の内4名の障がい者が、健常者と垣根なく農作業に従事。

基本情報

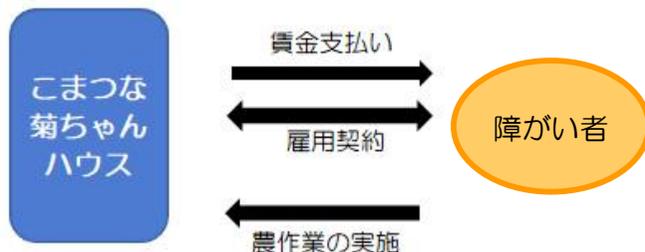
- 所在地：富山県射水市
- 団体名：こまつな菊ちゃんハウス
- 取組パターン：直接雇用型
- 選定表彰：
 - ・令和元年「とやま食の匠」（富山県）
 - ・平成29年「とやま障害者フレンドリー企業」に認証される。（富山県）

- 主力商品：こまつな、梨、大かぶ、にんじん



こまつな

体制図



取組の概要

○ハウス36棟でのこまつな栽培を中心に、梨40a、露地では大かぶ、にんじんを栽培。
○障がい者の作業内容は、土づくりのための堆肥や有機肥料の散布、機械を使った耕うんや播種、草取り、生育管理、収穫や出荷調整まで、先輩の障がい者が後輩に作業手順を指導しながら、ほぼ全ての工程に携わる。

○身体・知的・精神等それぞれの障害の程度や、本人の適性を見極めながら、各作業に配置し、自分のペースで一定の作業に専念。

○常時、ベテラン従業員と一緒に作業をして、障がい者を温かく見守る環境を構築。



耕うん作業



堆肥の運搬

取組の成果

○11棟から始めたこまつな栽培は、年々規模が拡大し、現在ハウス36棟で年間9～10回転しており、令和5年は約85t出荷。

○若い健常者は、就職してもすぐに辞めてしまうという問題があったが、現在雇用している障がい者は辞めずにしっかりと働き、戦力となっている。

○障がい者たちは真面目で、段取りから作業終了まで、きちんと仕事をしている。また、暑さ寒さが厳しい日でも遅れることなく出勤し、自分の作業を行うので、経営者側としても、改めて行動や考え方を見直すきっかけとなった。

所在地▶富山県射水市円池46-2

連絡先▶TEL:0766-53-0078 FAX:0766-53-1101

E-mail:kikuchan@po11.canet.ne.jp

【取組のプロセス】

ビニールハウス
増設

2007年

きっかけ

人手不足から、富山県障害者チャレンジトレーニング事業（短期の就業体験）の一環で、高岡障害者就業・生活支援センターから依頼を受け、障がい者を1週間受け入れたこと。

「富山県障害者チャレンジトレーニング事業」の一環で障がい者を受け入れ

2010年～

実習生として障がい者が農作業に従事

○ 最初は実習だけのつもりであったが、受け入れ期間を延長し、十分戦力になってくれると確信する。

ビニールハウス
増設

2011年～

障がい者を直接雇用

○ 障がい者を直接雇用し、人手不足解消の一助となる。

労働力確保

ビニールハウス
増設

2012年～

福祉分野経験者の従業員が加わる

○ 福祉分野経験者の従業員が加わり、業務責任者に福祉分野経験者を据える。

「とやま障害者フレンドリー企業」に
認証される

2014年

「とやま障害者フレンドリー企業※」に認証される

○ 「とやま障害者フレンドリー企業」に認証され、富山県HPで紹介される。
※富山県障害者雇用推進企業…障害者の雇用を積極的に取り組んでいる企業

選果・出荷施設
も稼働

2017年

**ビニールハウス増設により周年栽培
2024年現在、ハウス36棟**

○ こまつなの袋詰め作業等を室内で行うための
選果・出荷施設も稼働

2024年

事業承継

今後の
展望

○ ビニールハウスの更なる増設を検討。

○ 障がい者に生産・販売・加工等、やりたい仕事を選べる環境をつくるため、法人化を検討中。



収穫直前のこまつな



収穫作業



増設後のビニールハウス



選果・出荷施設